

図書館だより



武雄高等学校 図書指導部
平成 31 年 4 月 25 日発行

2,3年生のみなさんは、新学期がスタートしました☆また、1年生のみなさんへご入学おめでとうございます♪今年度最初の図書館だよりです。今年度もたくさんの本の紹介を行っていきたく思いますので、よろしくお願いします^^

図書指導部 スタッフ紹介

主任：米田聡子（3年 国語科）
係：寺崎 彩（3年 国語科）
内田静香（3年 国語科）
山口正貴（1年 英語科）
司書：糸山 綾

☆☆1年間よろしくお願いします☆☆

2019年本屋大賞が発表！！

4月9日に、2019年本屋大賞が発表されました。大賞に選ばれたのは、瀬尾まいこさんの『そして、バトンは渡された』です！この作品は図書館にもありますので、ぜひ借りて読んでみてください♪♪

『そして、バトンは渡された』

瀬尾 まいこ【著】（文藝春秋）

森宮優子、17歳。継父継母が変われば名字も変わる。けどいつでも両親を愛し、愛されていた。

「私には父親が3人、母親が2人いる。家族の形態は、17年で7回も変わった。でも、ぜんぜん不幸ではないのだ。」

身近な人が愛おしくなる、著者会心の感動作。



《新着図書案内》○○○

これらの作品以外にもたくさん
さんの新着図書があります
ので、ぜひ図書館まで！

『君は月夜に光り輝く～+Fragments～』

佐野 徹夜【著】 (KADOKAWA)



☆『君は月夜に光り輝く』の続編です！前作もありますので、そちらもどうぞ！！

不治の病「発光病」で入院したままの少女・渡良瀬まみず。余命ゼロの彼女が、クラスメイトの僕・岡田卓也に託したのは「最期の願い」の代行だった。限られた時間を懸命に生きた、まみずと卓也の物語の「その後」とは一。「僕は今でも君が好きだよ」少しだけ大人になった卓也と、卓也の友人・香山のそれぞれが描かれていく。他、本編では語り尽くせなかった二人のエピソードも収録。生と死、愛と命の輝きを描き、日本中を感動に包み込んだ『君月』ワールドが再び。

『傲慢と善良』

辻村 深月【著】 (朝日新聞出版)



婚約者・坂庭真実が忽然と姿を消した。その居場所を探すため、西澤架は、彼女の「過去」と向き合うことになる。生きていく痛みと苦しさ。その先にあるはずの幸せ一。2018年本屋大賞『かがみの孤城』の著者が贈る、圧倒的な“恋愛”小説。

☆『かがみの孤城』もありますので、そちらもどうぞ！！

『ミステリーで読む戦後史』

古橋 信孝【著】 (平凡社)



敗戦後の復興の光と影の中で、『点と線』『ゼロの焦点』が書かれ、爆発的な人気を博し、推理小説に社会派という新たな流れをつくり出す。さらに、高度成長期へと続く時代のなかで、『海の牙』や『人喰い』、騒音公害を告発する『動脈列島』などの作品が生み出されていく。ミステリーは謎解きが終われば、それで一応の役目は終わりとなるが、歴史の中に位置づけることで、時代が抱える問題が鮮明に浮かび上がる。はたして、ミステリーは戦後社会をどう捉えてきたか。まったく新しい読み方で、10年ごとに時代を振り返る。

お知らせ



①今年度から2F購買部前に返却BOXを設置することになりましたので、ぜひご利用ください☆

②図書館にある古い雑誌をみなさんにお譲りします！！雑誌のラインナップは、「ダ・ヴィンチ」「Newton」「NATIONAL GEOGRAPHIC」「日経サイエンス」「留学ジャーナル」です^^ほしい雑誌がある人は、ぜひ図書館まで来て下さい♪